

## ICTを活用した施策を推進していくための ビジョンの検討について

### 1. 背景

- 現在、本格的な人口減少社会の到来と少子高齢化の進行、経済のグローバル化等、本県を取り巻く情勢が変化する中、地域や行政の課題の高度化・複雑化が進んでいる。
- 国においては、超高齢社会における諸課題を解決するための鍵としてICT（情報通信技術）を位置付け、平成28年5月に「世界最先端IT国家創造宣言」が全面改定されるとともに、同年6月に策定された「日本再興戦略2016」の大きな柱として、「第4次産業革命の実現～IoT・ビッグデータ・AI・ロボット～」との方向性が提示され、多くの社会課題の解決や生活の質の飛躍的な向上を目指すとともに、「経済財政運営と改革の基本方針2016」（骨太の方針）においてもICTを活用した成長戦略の深化・実現に向けて取組を進めることとされている。
- 本県においても「滋賀県基本構想」で掲げる重点施策を有効かつ効率的に実施していくためには、国の取組を踏まえながら、ICTを課題解決のためのツールとして積極的に活用することが求められており、ICTの進歩に的確に対応しながら、中長期的かつ計画的にICT活用施策を推進していくため、その指針となるビジョンの策定を検討している。

### 2. 概要

#### (1) 性格

- 情報政策分野について「滋賀県基本構想」を補完し、その理念をより豊かにし、他の計画と相俟って、滋賀県政の総合的かつ計画的な発展に寄与するもの。
- 県民や市町・各種団体・企業等に対しては、ICTの利活用について、その理念を共有し、実現に向けてともに取組を進めていくための将来ビジョンになるものであるとともに、県による具体的なICT活用施策の推進のための行動指針となるもの。

## (2) 構成 (イメージ)

- ICT活用施策の中長期的なビジョン・基本理念等の提示
- 上記を踏まえ、その対象期間中に重点的に取り組むべき県のICT活用施策の展開方向を示す実施計画を併せて策定

### (重点分野のイメージ)

- 地域・産業の活性化
- 安全・安心な生活
- 便利な行政サービス
- ICT人材の育成

## (3) 策定プロセス (イメージ)

- ICTに関する専門的な知見を有する者等で構成する「懇話会」を開催し、その意見を聴取する。
- 産学官が参画する「滋賀県地域情報化推進会議」とも十分な連携を図る。
- 県内市町、事業者等からも随時意見を聴取する。
- 平成29年度中に策定し、平成30年度から実施する(計画期間：5か年度)。

※ 適宜、検討状況を議会に報告